

製品安全データシート

作成日	2019 年 5 月 27 日
改訂日	2026 年 7 月 22 日

1. 化学品及び会社情報

化学品名	K-150ULN
供給者の名称	アーク株式会社
住所	大阪市中央区安土町 3-5-13
電話番号	06-6563-7710
FAX 番号	06-6563-7720
推奨用途	溶剤
使用上の制限	専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	JIS Z 7252、7253:2025 使用
物理化学的危険性	引火性液体 区分 3
健康に対する有害性	急性毒性（経口） 区分 4 皮膚腐食性／刺激性 区分 2 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 2A 皮膚感作性 区分 1 発がん性 区分 2 特定標的臓器全身毒性（単回ばく露） 区分 1（血液）、区分 2（眼）、区分 3（気道刺激性、麻酔作用） 特定標的臓器全身毒性（反復ばく露） 区分 1（血液、眼、鼻）、区分 2（中枢神経系、肺） 誤えん有害性 区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性） 区分 1 水生環境有害性 長期（慢性） 区分 1
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	可燃性液体 飲み込んで気道に侵入すると致命的となることがある 皮膚刺激を引き起こす 眼刺激を引き起こす アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 発がんのおそれの疑い

	血液の障害 眼の障害のおそれ 眠気又はめまいのおそれ。呼吸器への刺激のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による血液、眼、鼻の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、肺の障害のおそれ 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き（安全対策）	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。 静電気放電や火花による引火を防止すること。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 取扱い後は手をよく洗うこと。
注意書き（応急処置）	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、直ちに医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。 無理に吐かせないこと。気分が悪いときは医師の診断を受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
注意書き（保管）	容器を密閉し、涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
注意書き（廃棄）	内容物及び容器を、関係法令及び自治体の基準に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

成分名	CAS 番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)	官報公示整理番号
石油ナフサ	64742-94-5	100	化審法：9-1694
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	95-63-6	5.0～10.0	化審法：3-7、3-3427
ナフタレン（Naphthalene）	91-20-3	<0.1	化審法：4-311

4. 応急措置

目に入った場合	多量の清潔な低圧水で少なくとも15分間、まぶたの裏側も含めて洗い流すこと。刺激が持続する場合は医師の診察を受けること。
皮膚及び衣服に付着した場合	汚染された衣類を脱がせ、皮膚を石けんと多量の水で15分以上洗浄すること。粘着性がある場合は、まず水を使わないクリーナーを使用すること。気分が悪い、又は刺激が生じた場合は医師の診察を受けること。
吸入した場合	気分が優れない場合は直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。必要に応じて酸素吸入又は人工呼吸を行うこと。速やかに救急医療を受けること。
飲み込んだ場合	吐かせないこと。速やかに救急医療を受けること。
予想される急性症状及び	吸入した場合：過度の吸入は、咽頭痛、頭痛、吐き気、疲労、めまい、錯乱、意識喪

遅発性症状	失、咳、息切れ、中枢神経系抑制、中毒及び虚脱を引き起こすことがある。 皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥、発赤。 眼に入った場合：発赤、痛み。 飲み込んだ場合：吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、化学性肺炎のリスク。
最も重要な兆候及び症状	めまい、頭痛、吐き気。
医師に対する特別な注意事項	症状は遅れて発現することがあり、過剰にばく露した場合は医学的な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤	小火災の場合：二酸化炭素、粉末消火剤、水、耐アルコール性泡消火剤。大火災の場合：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤。
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災によって生じる特有の危険有害性	火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。蒸気は空気より重く、低所に滞留する。微量のスプレー・ミスト状態では、通常の引火点以下でも燃焼するおそれがある。高温になると密閉容器が破裂し、火災やけがの危険性が高まる。燃焼する液体は水に浮遊するおそれがある。
消火活動を行う者の保護	自給式呼吸器及び防護服（保護具）を着用すること。安全な距離、又は保護された場所から消火すること。冷却には水を使用し、発泡・蒸気爆発を避けること。液体が下水道・公共水域に流入した場合は直ちに当局に通知すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	ブチルゴム製耐薬品性手袋を着用すること。使用条件に応じて保護手袋、エプロン、ブーツ、頭部及び顔面の保護具を着用すること。保護具は使用するたびに十分に洗浄すること。
環境に対する注意事項	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。河川等へ排出し、環境へ影響を及ぼさないよう注意すること。環境中に放出してはならない。流出した場合は環境当局に連絡すること。
封じ込め及び浄化の方法・機材	すべての発火源を取り除くこと（直射日光の当たる場所では喫煙、火花、火炎がないことを確認する）。危険でなければ漏出を止めること。漏出物を取り扱う設備は接地すること。こぼれた物質に触れたり、その上を歩いたりしないこと。水路、下水管、地下室又は密閉区域への流入を防ぐこと。
回収	少量の場合は乾燥土、砂又は不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収して産業廃棄物として処理すること。少量の吸収物を集める際は帯電防止工具を使用すること。大量の場合は盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いに関する注意事項	皮膚との接触を避けること。適切な接地・接続の手順を使用すること。小さなこぼれや漏れを防ぎ、スリップの危険を避けること。静電気対策を講じること。
安全な保管条件	容器を開けたままにせず注意して取り扱うこと。開缶時はゆっくりと開けること。涼しく換気の良い場所に保管すること。ドラムは必ず接地・ボンディングし、自己閉鎖バルブ及びフレームアレスタを備えること。

8. ばく露防止及び保護措置

作業場の空気中のばく露限界、生物学的ばく露指標	<ソルベントナフサ> 管理濃度：設定されていない。許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：日本産業衛生学会（2007年版）設定されていない。ACGIH（2007年版）設定されていない。 <1,2,4-トリメチルベンゼン> 管理濃度：未設定。許容濃度：日本産業衛生学会（2008年度版）25ppm、120mg/m³。ACGIH（2008年度版）TWA 25ppm（トリメチルベンゼン異性体混合物として）。
設備対策	電気設備及び工具は防爆型を使用し、静電気放電に対する予防措置を講じること。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止すること（禁煙）。静電気対策のため装置・機器等の接地を確実にすること。局所排気・全体換気を行うこと。液の漏洩や蒸気の発散を極力防止すること。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼への刺激性があるため眼に触れないようにすること。眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるため、接触、吸入、飲み込みをしないこと。容器を転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずる取り扱いをしないこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。この製品を使用するときは飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後は十分に手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
呼吸器の保護具	換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具（有機ガス用防毒マスク）を着用すること。高濃度の場合は送気呼吸器を用いること。
眼の保護具	化学薬品用スプラッシュゴーグル又はフェイスシールドを着用すること。
手の保護具	耐薬品性手袋を着用すること。
身体の保護具	耐油性（不浸透性、帯電防止）長靴、前掛け、防護服等の保護具を着用すること。
衛生対策	使用後は十分に洗浄すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、色など）	無色透明液体
臭気	アロマ臭
臭気限界	データなし
pH	データなし
融点／凝固点	データなし
初期沸点及び沸点範囲	175～193℃（ASTM D86）
引火点	59℃（ASTM D56）
蒸発速度	8（ASTM D3539、n-BuAc＝100）
燃焼性（固体、ガス）	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	0.6～7%（Vol.）
蒸気圧	37.8℃で 4mmHg
溶解度	0.1 以下
蒸気密度	4.8（空気＝1）
比重	15.56℃で 0.886（ASTM D4052）
分配係数（n-オクタノール／水）	データなし

自然発火点	465℃
分解温度	データなし
粘度	1.14 cSt at 25℃

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の取扱いにおいては安定している。
危険有害反応可能性	強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険がある。
避けるべき条件	空気との爆発限界内での混合気体の形成。
混触危険物質	過酸化水素、硝酸、硫酸などの強酸化剤。
危険な分解生成物	炭素酸化物 (CO、CO ₂)。

11. 有害性情報

ばく露経路の可能性に関する情報	吸入ばく露：刺激、頭痛、眠気、めまい、方向感覚の喪失を引き起こすことがある。 経口ばく露：刺激、嘔吐、頭痛、めまい、方向感覚の喪失、肺うっ血を引き起こすことがある。 皮膚ばく露：皮膚刺激を引き起こすおそれがある。液体は皮膚の脱脂を起こす。 眼のばく露：眼刺激を引き起こすおそれがある。
急性毒性	<ソルベントナフサ> 経口 LDLo (ラット) >5mL/kg。皮膚 LD50 (ウサギ) >2mg/kg。吸入 LC50 (ラット) : 590mg/m³、>5000mg/kg。皮膚 LC50 (ウサギ) : >3160mg/kg。吸入 LC50 (ラット) : >11.4mg/L/6時間。 <1,2,4-トリメチルベンゼン> 経口 LDLo (ラット) : >10mL/kg (NLM)。
皮膚腐食性／刺激性	皮膚刺激を引き起こすおそれがある。
重大な眼の損傷性／眼刺激性	眼刺激を引き起こすおそれがある。
呼吸器感作性	感作性があるとは考えられていない。
発がん性	<ソルベントナフサ> IARC グループ 3 (ヒトに対する発がん性については分類できない)。
生殖細胞変異原性	適用できない。
生殖毒性	適用できない。
誤えん有害性	液体を飲み込むと化学性肺炎のリスクで肺に吸引されることがある。
毒性の数値尺度 (急性毒性推定値等)	データなし。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性)	<ソルベントナフサ> 魚類 LC50 : 45mg/L/96hr (IUCLID)。甲殻類 EC50 : 0.95mg/L/48hr (IUCLID)。藻類 EC50 : 2.5mg/L/72hr (IUCLID)。
水生環境有害性 長期 (慢性)	<ソルベントナフサ> BCF : 130~159 (IUCLID)。潜在的蓄積性を有する。急速分解性を示すデータなし。

1 3．廃棄上の注意

処分方法	認可された業者を利用し、廃棄物処理施設で処分すること。関連法規及び自治体の基準に従うこと。
廃棄上の注意事項（廃棄容器及び方法の指定）	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに自治体の基準に従って適切に処分すること。

1 4．輸送上の注意

海上規制情報	IMO の規定に従う。UN No. 3082、Class 9、Packing Group III。
航空規制情報	ICAO の規定に従う。UN No. 3082、Class 9、Packing Group III。
陸上規制情報（国内）	消防法の規定に従う。道路法の規定に従う。
海上規制情報（国内）	船舶安全法の規定に従う。国連番号 3082、クラス 9、容器等級 III。
航空規制情報（国内）	航空法の規定に従う。国連番号 3082、クラス 9、容器等級 III。
特別安全対策	転倒、破損、落下しないように積載すること。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

1 5．適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、労働安全衛生規則別表第 2）：石油ナフサ、1, 2, 4-トリメチルベンゼン（政令番号：404） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、労働安全衛生規則別表第 2）：石油ナフサ、1, 2, 4-トリメチルベンゼン（政令番号：404）
有機溶剤中毒予防規則	第 3 種有機溶剤等
消防法	危険物第四類第二石油類非水溶性液体 危険等級 III
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	第 1 種指定化学物質（政令番号：1-296） 1, 2, 4-トリメチルベンゼン
大気汚染防止法	揮発性有機化合物（1, 2, 4-トリメチルベンゼン）
船舶安全法	引火性液体類
港則法	引火性液体類
航空法	引火性液体

1 6．その他の情報

参考文献	各データ項目に記載した文献・データベース（NITE 化学物質総合情報提供システム等）の情報に基づき作成した。
改訂に関する備考	本改訂では、JIS Z 7252 及び JIS Z 7253 の 2025 年版（国連 GHS 文書改訂第 9 版準拠）への表記対応、並びに関連するデータベース・法令の最新情報の確認を行った。記載内容は作成時点の情報に基づくものであり、取扱いに際しては別途最新の法令及び情報を確認すること。